

# 教育後援会だより

平成7年8月1日

第4号

発行/明海大学浦安キャンパス教育後援会

〒279 千葉県浦安市明海8  
電話 0473-55-5112



## 新入生を迎えて

学長 大束百合子

ご入学おめでとうございます。ご両親・ご家族にも心からお祝い申し上げます。

さて、大学に学ぶということはどういう意義があるのでしょうか。長い歴史を通じて大学はその性格を大きく変えて来ました。その昔の「象牙の塔」は、今では広範な大衆にも高等教育を提供する場になっています。しかし古今の大学を貫いて通っている筋と言つべきものがあると思います。例えば、十九世紀英国の大学人であったJ・H・ニューマンが「大学の理念」という論文の中で言っているのは、そのような変わらぬ「筋」ではないでしょうか。

大学は単なる知識獲得の場ではない、大学に期待されるものは個々の事実の断片的知識の羅列や集積ではなくて、物事の相関関係、由来や背景を究め、それを踏まえて精神の拡大と啓蒙を果たすこと、偏見と狭量を斥けることだ、と。

大学で学生が知識を身につけると共に、広い視野を養って、人間として大きく成長することを切に期待いたします。



## 第五代会長に就任して

教育後援会会長 丹下 剛

先般明海大学で開催されました後援会評議員会総会において推薦を受け、今年度から二年間会長を務めることになりましたので一言ご挨拶を申し上げます。

教育後援会は明海大学の建学の当初から大学のご配慮によって組織され、八年がたったわけでありますが、その設立の目的は教育後援会規則にあると理解しています。それは申ししても、大学の充実が父母が参画できることは限られておりまして、とくに本来の教育をはじめとする学生生活全般の向上を側面から支援するために後援会資金をどのように有効に運用していくべきかが基本的課題であると認識しています。要は学生にプラスになることに対して大学の協力をお願いしていきたいと考えております。

今年度は神戸大地震、地下鉄サリン事件など本当に気持ちが暗くなる大事件が続きました。しかし振り返ってみますと、一年前には聞いたこともない名前のサリンなどという罪深い物質が突然に世間を震撼させたことは、事件の真相は別として、われわれ親の世代が若い世代の心の中を深く考えさせられる社会問題を提起したように思っています。しかし、事件に関わったとされる集団の底辺は若い世代であることからかく若い世代の心理分析がなされていますが、現代社会の特徴を分析すれば若い世代に限らず、われわれの親である老人、われわれ中高年の働きざかりの者にも世代毎に異なった心身のストレス過剰な時代になりつつあり、心の安定をどのようにして保てばよいのかを考えさせられます。私も、いま、先日古本屋で手にした一冊の本「平井富雄著『禅と精神医学』 講談社学術文庫」を興味深く読んでいます。

今回の事件の反省から「大学教育における教養課程の必要性」を問い直す声があるので共感を覚えますが、一方で就職戦線の厳しい状況が学生たちを待ち構えているのが現状です。若者がどのような手段で心の糧をみつけ、構えて彼等の現状を切り抜け自立していくのかを考えてみる必要はあると思えます。

教育後援会だよりは今年から正規の編集委員会を充足させて十分な企画をもとに大学と後援会の状況として大学・学生・父母の声を最大限お手元にお届けしますので、ご協力の程を宜しくお願い申し上げます。

# 大学の現況報告について

事務局長 足立 卓三



本学は既にご案内のとおり、昭和四五年に埼玉県坂戸市に城西歯科大学として歯学部のみで単科大学で発足しました。その後、昭和六三年に浦安市に外国語学部と経済学部（第一部・第二部）を設置し、大学名も明海大学に変更し、さらに平成四年には日本で初の不動産学部（第一部・第二部）を開設しました。現在では、不動産学部も完成年度を迎え、平成七年五月一日現在で浦安キャンパスでは六、三四八名、歯学部で七六〇名、総計七一〇八名の学生数となっています。

平成七年の入試状況につきましては、歯学部を含め志願者総数は二二、五八八名（内浦安キャンパスは一、七六三名）で、志願倍率は八・七倍となっております。しかし、平成六年と比べ志願者数で約三、〇〇〇名の減少（約二十％減）となっております。最近にない減少を見ました。大学としては志願者減少に伴う対応策として、入試日程の分析や志願者の地域分析、指定校の策定、高校訪問・入試説明会の実施方法などについて検討し、志願者数の確保に努力いたしております。また、新たな外国人留學生の入学定員枠として、外国語学部二十名（日本語学科十名・英米語学科十名）、経済学部五十名、計七十名が文部省から認可を受けました。その結果外国人留學生は現在二三四名で、その他一年課程の別科生五四名を加えると二九一名（五月一日現在）になります。なお、このまま推移しますと三年後には総留學生が四〇〇名を越え亜細亜大学、大東文化大学、早稲田大学などと並ぶ数になることが予想されます。

次に皆様方が最もご関心のある就職状況について説明したいと思います。

就職に際しては、資格の取得や語学力などを有している者が就職に有利なこともあり、本学としても就職免許、宅地建物取引主任者、不動産鑑定士、販売士、英会話（初級・中級）、中国語会話、公務員対策講座など、積極的な資格取得対策を実施いたしております。また、今年から新たに年間を通して専任職員が企業訪問を、また教員は企業人事担当者に対して大学にお集まりいただき本学学生への資質等をアピールして理解を得る機会をつくり努力しています。

また一方昨年は、三井不動産㈱、三菱地所㈱、森ビル㈱、積水ハウスなど一流企業の会長、社長などトップの方を本学に招き特別講義も開講しました。

昨年に引き続き本年も、厳しい就職環境であります。大学として最大限の努力をしたいと考えております。会員各位のご協力も大きな力になることと思っておりますのでよろしくお願い致します。

さて、明海大学、特に浦安キャンパスでは学部増設以来、学生厚生、課外活動を中心として教育後援会から多大の援助を頂戴しております。特に平成六年度には新設のトレーニングセンター内のトレーニング器具の寄贈やクラブハウスの改修、奨学金制度の新設などを中心に約八、〇〇〇万円の予算を頂戴いたしました。心より御礼申し上げます。大学では大学院研究科の増設など前向きな事業を考えておりますが、教育後援会のご支持が大でございます。今後ともよろしくご後援とご協力をお願いしまして挨拶とさせていただきます。



## 第三回評議員会開催

平成七年五月二十九日（日）に、通算で第三回目の評議員会が不動産学部棟三階大会議室で開催されました。

今年も昨年同様、評議員会開催の前に学内見学が行われ、新築のトレーニングセンターなどを見学しました。会議には全国の各地区から評議員が五十五名出席しました。大学側からは日曜日にもかかわらず宇田川経済学部長、中山図書館長、成瀬教務部長、藤本学生部長、谷光日本語学科主任、足立事務局長、三田事務部長他多数の方々が同席されました。

会議では足立事務局長から大学の現況報告、本会の平成六年度の事業報告や決算報告が行われたあと、新役員・評議員の選出、平成七年度予算等の審議が行われ、事業内容等に対しての鋭い質問や本会の今後のあり方などについての貴重な意見が活発に出され大変有意義な会となりました。

また、懇親会では大東学長、宮田常務理事なども参加され、父母の方々と教職員との親睦を大いに深めることができました。

評議員の方々から寄稿を頂いておりますので紹介いたします。



## 雑感

松井三男・評議員（新潟）

若年層の方の発言の中から、「父兄」云々の発言にことのほか共感しました。戦後民主教育の発展とともに「父兄会」を父母会に、保護者会にと名称を改めた全国的な動きを思い出しました。忘れてはならないこととして、規約の文面を改めてほしいものと思います。

地方出身の二部の学生の親として、重くなる教育費の問題、学生生活上の問題、就職浪人の問題など、もっと出されてもよいのではと思います。また、大学図書館と地域とのかわりについて一言発言しましたが、開かれた学園と地域のかかわりに注目すべきだと思いました。

## 図書館蔵書の充実を年次計画で

及川暉久・評議員（岩手）

明海大教育後援会評議員となり二年目を迎えました。ようやくにして役員としての役割が認識できたような感じがします。今年の会議は、昨年と異なり活発な発言があり、特に女性の発言が目立ち世相を反映しているところづく感じられました。明海大は、千葉の大学の感がしますが、地方在住者からすれば、もっと効果的PRを工夫し、全国相手の大学とするよう努力が必要です。特に図書館蔵書の少ないことの説明がありました。早急に整備計画を立て内容充実を図るべきであると思います。大学図書館には無いものは無いと言わしめるほどに。もっとも活字離れの今の学生を図書館に向ける工夫も必要です。

## 評議員会に参加して

富田弘雄・評議員（札幌）

九十三年、九十四年、九十五年と評議員会に出席し、毎年新しい発見をしてきました。初回は娘の学ぶ校舎にはじめて入ったことです。新キャンパスということもあり建物や設備の立派さに驚いたものです。二回目は大学と地域の関係です。開かれた大学、地域に根ざした大学を追求している大学人の姿勢に共感しました。三回目はキャンパス教育後援会の活動です。子供達を側面から応援するため、特に地元の幹事のみなさんで検討を重ね、一歩一歩実現している様子に感謝しております。

今年もきびしい就職戦線ではありますが、娘にとって学生時代のふれあいが長く続くことを願っております。

# 1994年度決算報告

(自1994年4月1日  
至1995年3月31日)

## 借上集合住宅特別会計

収入の部		支出の部			
科目	本年度予算	決算額	科目	予算額	決算額
繰入金	55,000,000	55,000,000	借上住宅引当	50,000,000	50,000,000
賃貸料	13,821,600	12,669,800	賃貸料	17,520,000	17,520,000
諸経費	0	0	会議費	200,000	0
利息	41,010	8,431	事務費	100,000	0
繰越金	6,337,390	6,337,390	交通費	100,000	780
前受金	0	921,800	雑費	7,280,000	15,344
			次年度繰越金	0	7,401,297
計	75,200,000	74,937,421	計	75,200,000	74,937,421

## 奨学金特別会計

自1994年4月1日  
至1995年3月31日

収入の部		支出の部			
科目	本年度予算	決算額	科目	予算額	決算額
繰入金	55,000,000	55,000,000	奨学金	5,000,000	360,000
利息	0	6,160	その他	50,000,000	50,000,000
繰越金	0	0	繰越金	0	4,646,160
合計	55,000,000	55,006,160	合計	55,000,000	55,006,160

## 1994年度事業報告

月日	場所	事業内容	備考
5/13(金)	4302 会議室	第1回役員会	(審議事項) 新議員の選出について 新評議員の選出について 1993年度教育後援会決算書について 1994年度教育後援会予算について
5/29(日)	4301 会議室	評議員会	(審議事項) 評議員の選出について 役員等の選出について 奨学金規程について 1993年度教育後援会決算について 1994年度教育後援会予算について
6/29(水)	2301 講義室	大野幹夫氏特別講演会	アメリカニュージャージー医科歯科大学准教授 演題「アメリカからのメッセージーアメリカの大学教育と日本人留学生の現状」
7/2(土)	4301 会議室	第2回役員会	(審議事項) 年間予定について 地区懇談会の開催について 奨学金の選考基準について 卒業記念品について
8/19(金)	4302 会議室	第3回役員会 大学役員者との懇談会	(審議事項) 朝日大学視察について 地区懇談会の開催について サマーセッション奨励金について 学園祭の奨励金について 大東学長、宇田川経済学部長、藤本学生部長、小原不動産学科主任、足立事務局長他出席
9/4(日) 9/6(火)	伊豆修善寺	国際交流サマーセッション	山口教育後援会評議員出席
9/9(金) 9/10(土)	朝日大学	朝日大学見学研修	朝日大学学生部長の講演会 学内見学 懇談会他
10/15(土)	4301 会議室	第4回役員会 同窓会役員との懇談会	(審議事項) 地区懇談会の開催について 1995年度事業計画について  (主な内容) 大学現況報告 教育後援会報告 質疑応答 各学科教員と父兄との面談
11/20(日)	福島市	東北地区懇談会	
12/10(土)	4302 会議室	第5回役員会	(審議事項) 部室修繕費奨励金について 奨学生の採用について 1995年度行事予定について 1995年度予算について
3/18(土)	4302 会議室  講義室	第6回役員会  OB会との懇談会	(審議事項) 1995年度事業計画について 新入生ウェルカムパーティー奨励金について 新役員選出について 借上住宅状況について 奨学生の採用について  大東学長、鈴木外国語学部長、宇田川経済学部長、谷元日本語学科主任、小原中国学科主任、中山図書館長、藤本学生部長、森田前教務学生部長、田村前学生課長他出席

## 一般会計

### 収入の部

科目	本年度予算額	本年度決算額
会費	110,300,000	118,747,000
雑収入	2,194,887	2,514,373
前年度未収入会費	5,352,000	5,352,000
繰越金	31,153,113	31,153,113
合計	149,000,000	157,766,486

### 支出の部

科目	本年度予算額	本年度決算額
事業費	91,200,000	60,419,351
小計	11,500,000	5,600,402
組織対策費	3,500,000	0
学生会関係活動対策費	1,200,000	1,370,986
会議費	800,000	933,524
小計	6,000,000	3,295,892
小計	79,700,000	54,818,949
全学行事援助費	26,000,000	15,684,356
部活動等協力費	15,200,000	6,946,600
教育・研究補助	3,200,000	3,104,463
卒業記念品費	20,000,000	17,468,800
就職対策費	5,000,000	1,434,420
米国学情講演会	300,000	180,310
学生住宅事業繰出金	5,000,000	5,000,000
奨学金事業繰出金	5,000,000	5,000,000
小計	5,250,000	3,976,818
評議員会議	1,500,000	1,323,319
幹事会	1,500,000	1,623,285
常任幹事会	250,000	167,637
諸会議	2,000,000	862,477
小計	15,400,000	8,455,658
一般管理費	11,400,000	8,108,200
通信費	1,000,000	185,560
慶弔費	800,000	475,293
旅費交通費	600,000	0
印写事務費	2,200,000	2,797,678
会費徴収等委託費	2,000,000	3,340,216
渉外費	3,000,000	590,848
消耗品費	1,500,000	697,788
雑費	300,000	20,823
備置	1,000,000	347,452
什器備品費	1,000,000	347,452
人件費	3,000,000	0
基本積立基金繰出	10,000,000	0
小計	21,000,000	25,000,000
トレーニング器具寄附	15,000,000	15,000,000
クラブハウス修繕費寄附	6,000,000	10,000,000
予備費	6,150,000	0
次年度繰越金	0	59,914,659
合計	149,000,000	157,766,486

## 監査報告書

明海大学浦安キャンパス教育後援会

会長 白石雅章 殿

作成日 1995年4月28日

住所 千葉県浦安市東野3-12-11

会計監査(自署) 野田雅子

電話 0473-51-6553

住所 茨城県つくば市上野6404-6

会計監査(自署) 柳下央世

電話 0278-47-8226

私たちは、明海大学浦安キャンパス教育後援会会則第9条第5号に基づいて、明海大学浦安キャンパス教育後援会の1994年度(1994年4月1日から1995年3月31日まで)における収支決算書及びその他これに関連する諸帳簿等について監査を行った。

この監査に当たって、私たちは、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠し、必要な監査手続を実施した。

監査の結果、私たちは、上記の計算書類が明海大学浦安キャンパス教育後援会の1995年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状況を適正に表示しているものと認める。

以上

# 1995年度予算

(自1995年度4月1日  
至1996年度3月31日)

## 借上集合住宅特別会計

収入の部			支出の部		
科目	前年度予算	本年度予算	科目	前年度予算	本年度予算
繰入金	55,000,000	1,000,000	借上住宅引当金	50,000,000	0
賃貸料	13,821,600	13,225,900	借借料	17,520,000	17,520,000
諸経費	0	542,100	仲介手数料	0	0
利息	41,010	1,235,503	会議費	200,000	300,000
その他	0	0	事務費	100,000	100,000
			交通費	100,000	100,000
前期繰越金	6,337,390	7,401,297	雑費	7,280,000	5,384,800
計	75,200,000	23,404,800	計	75,200,000	23,404,800

## 奨学金特別会計

収入の部			支出の部		
科目	前年度予算	本年度予算	科目	前年度予算	本年度予算
繰入金	55,000,000	5,000,000	奨学金	900,000	8,100,000
利息	0	1,179,840	奨学金基金	50,000,000	0
繰越金	0	4,646,160	事務費	4,100,000	2,726,000
合計	55,000,000	10,826,000	合計	55,000,000	10,826,000

## 1995年度教育後援会役員名簿

自1995年6月1日  
至1996年5月31日

役職名	氏名	役職名	氏名
会長	丹下 剛	幹事	清籙 信雄
副会長	貝原 和年	幹事	新井 敏男
副会長	川口 一郎	幹事	加藤 想士
常任幹事	柳田 雅子	幹事	若山 照夫
常任幹事	中嶋角次郎	幹事	神嶋 博
常任幹事	原 信之	会計	大竹 靖夫
幹事	小畑美恵子	監事	野田 雅子
幹事	山田 和夫	監事	内藤 征男
幹事	鈴木 令一		
幹事	小林 勝利	名誉会長	岡本 長吉
幹事	軽部 正信	名誉会員	黒田 学
幹事	秦 誠三	名誉会員	白石 雅章

## 一般会計

収入の部		前年度予算額	本年度予算額
会費		110,300,000	131,237,000
雑収入		2,194,887	1,848,341
前年度未収入会費		5,352,000	0
繰越金		31,153,113	59,914,659
合計		149,000,000	193,000,000

## 支出の部

科目		前年度予算額	本年度予算額
事業費		91,200,000	99,200,000
小計		11,500,000	13,700,000
会員組織費		3,500,000	3,500,000
視察費		1,200,000	1,200,000
組織強化費		800,000	3,000,000
広報費		6,000,000	6,000,000
小計		79,700,000	85,500,000
全学行事援助費		26,000,000	26,000,000
部活動等協力費		15,200,000	15,000,000
教育・研究補助		3,200,000	3,200,000
卒業記念品費		20,000,000	30,000,000
就職対策費		5,000,000	5,000,000
米回事務講演会		300,000	300,000
学生住宅事業繰出金		5,300,000	1,000,000
奨学金事業繰出金		5,000,000	5,000,000
小計		5,250,000	6,300,000
評議員会議		1,500,000	2,000,000
幹事会		1,500,000	2,000,000
常任幹事会		250,000	300,000
諸会議		2,000,000	2,000,000
小計		15,400,000	16,400,000
小計		11,400,000	1,540,000
通信費		1,000,000	1,000,000
慶弔費		800,000	1,000,000
旅費交通費		600,000	100,000
印写事務費		2,200,000	3,500,000
会費徴収委託費		2,000,000	5,000,000
渉外費		3,000,000	3,000,000
消耗品費		1,500,000	1,500,000
雑費		300,000	300,000
小計		1,000,000	1,000,000
什器備品費		1,000,000	1,000,000
人件費		3,000,000	0
基本積立基金繰出		10,000,000	60,000,000
小計		21,000,000	0
トレーニング器具寄附		15,000,000	0
クラブハウス修繕費寄附		6,000,000	0
予備費		6,150,000	11,100,000
合計		149,000,000	193,000,000

## 1995年度事業計画

自1995年6月1日  
至1996年5月31日

- 1995年6月17日(土) 常任幹事会
- 7月28日(金) 常任幹事会・役員会  
大学役職者との懇談会
- 9月9日(土) 歯学部見学
- 10月14日(土) 常任幹事会・役員会  
学友会・同窓会との懇談会
- 11月19日(日) 地区父兄懇談会  
(北陸・東北)
- 12月9日(土) 常任幹事会・役員会
- 1996年2月10日(土) 常任幹事会・役員会
- 3月16日(土) 常任幹事会・役員会
- 4月27日(土) 常任幹事会・役員会
- 5月25日(土) 常任幹事会
- 5月26日(日) 評議員会・懇談会

# 明海大学 スポーツ奮闘記

## △陸上競技部▽

五月十九日から三日間、東京国立競技場で行われた「第七四回関東学生陸上競技選手権」において、第二部総合四位を獲得しました。昨年は第二部総合三位でしたが、主力選手の卒業と一年生部員がいけない悪条件が重なり、残念ながら目標の総合二位は逃してしまいました。

また今春卒業した境野雅之君が、ユニバーシアード福岡大会の三段跳びの代表選手として選ばれるという朗報が届いています。

## △ヨット部▽

四月二十九日から五月一日まで開催された春季インカレにおいて、予選四位決勝十一位という満足のいく成果を得ました。なお、女子インカレは天候の都合で中止となりましたが、昨春個人戦で優勝していることから、秋季インカレでの活躍が期待されます。

## △男子公式庭球部▽

平成七年度関東テニスリーグ（第五部）で五大学を相手に全勝優勝を果たしました。さらに、入れ替え戦では、成蹊大学に五対四の熱戦の末、四部昇格を果たしました。

## △バレーボール部▽

男子関東大学リーグ十部で七大学を相手に全勝優勝し九部昇格を果たしました。

## △ラグビー部▽

四月二二日・二三日に行われた関東リーグ七人制大会で、コンストレーション優勝を果たしました。

## △サッカー部▽

悲願だった千葉真選手権大会での優勝を皮切りに、続く千葉県大学選手権大会兼総理大臣杯県予選大会に優勝しましたが関東予選では、善戦虚しく、予選リーグで敗退しました。しかし、七月九日に行われた天皇杯サッカー県代表戦では、ライバル国際武道大を倒し決勝にコマを進めた千葉教員と接戦の末、延長後半に決勝ゴールを奪い、初の天皇杯関東大会への出場を決めました。



## —— 学生の試験時の不正行為の規程の改正等について ——

本学では、定期試験時などで学生のカンニング等の不正行為に対する従来の内規が下記のとおりさらに厳しいものに改正されました。

つきましては、大学からは学生に提示等で告知させておりますが、ご父母の方からもご子弟にこのことについて、ご指導いただきたくお願い申し上げます。

### 明海大学浦安キャンパス学生の試験における不正行為者の懲戒に関する内規

- 第1条 この内規は、明海大学学生の懲戒に関する規程第7条の規定に基づき、浦安キャンパスの学生の試験における不正行為者の懲戒について必要な事項を定める。
- 第2条 試験監督者は、不正行為のあった受験者の受験を直ちに中止させ、本人を試験本部に同行し、学生委員とともに不正行為の事実確認を行う。
- 第3条 不正行為者の懲戒は、次の各項に定めるとおりとする。
- 2 停学処分は次の各号に該当する者について行う。
- (1) 受験を依頼した者および依頼されて受験した者
  - (2) 答案を交換した者
  - (3) カンニングペーパー等を使用した者
  - (4) 所持品、身体、机および壁等に書込みをした者
  - (5) 答案を見せた者および見て書き写した者
  - (6) 私語および動作等で連絡した者および連絡を受けて答案を書いた者
  - (7) 使用が許可されていない物を使用した者
  - (8) その他停学処分に該当すると思われる不正行為者
- 3 訓告処分は試験場において試験監督者の指示に従わなかった者について行う。
- 4 不正行為により停学処分を受けた者の当該学期の全履修科目を無効とする。
- 第4条 懲戒の起算日は、不正行為日とする。
- 第5条 不正行為者の氏名及び処分は、速やかに提示し、本人及び保証人に通知する。
- 第6条 この内規による処分者のうち、無期限停学処分者については、学生委員会の報告に基づき、教授会の議を経て、学長が停学を解除することができる。
- 付則 この内規は平成7年7月1日から施行する。

外国人留學生学年別在籍数  
1995年5月1日現在

所属 学年	外国語学部				経済学部	法学部	文学部	教育学部	理学部	工学部	農学部	獣医学部	薬学部	歯学部	3学部計
	日本語学	英語学	中国語学	外国語学計											
1年	16 (10)	13 (8)	2	31 (18)	81 (34)	9 (2)	12 (4)	21 (5)	1	1	1	1	1	1	21 (54)
2年	4 (3)	7 (5)	1 (1)	12 (9)	24 (10)	6	6	4 (1)	1	1	1	1	1	1	46 (49)
3年	5 (2)	6 (6)	0	11 (7)	22 (7)	9 (3)	9	4 (1)	1	1	1	1	1	1	42 (13)
4年	3 (3)	5 (3)	1	9 (6)	16 (7)	—	—	2 (1)	1	1	1	1	1	1	25 (105)
計	28 (18)	31 (24)	4 (1)	67 (40)	143 (58)	24 (7)	0	23 (105)	3 (1)	5 (2)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	291 (132)

外国人留學生在籍者数  
1995年5月1日現在

所 属 国・地域	外国語学部				経済学部	法学部	文学部	教育学部	理学部	工学部	農学部	獣医学部	薬学部	歯学部	3学部計
	日本語学	英語学	中国語学	外国語学計											
中 国	3 (2)	19 (12)	2 (1)	22 (14)	82 (40)	1 (1)	1	1	1	1	1	1	1	1	152 (77)
台 湾	1 (1)	4 (2)	—	5 (3)	11 (6)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32 (18)
韓 国	19 (11)	6 (5)	8 (1)	33 (17)	28 (14)	3 (1)	—	—	—	—	—	—	—	—	70 (33)
マレーシア	4 (4)	1 (1)	—	5 (5)	11 (4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18 (8)
香 港	—	—	—	—	2 (2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2 (2)
タイ	—	—	—	—	1 (1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 (1)
ミャンマー	—	1 (1)	—	1 (1)	1 (1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2 (2)
ネパール	—	—	—	—	1 (1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 (1)
インドネシア	—	—	—	—	3 (3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3 (3)
スリランカ	—	—	—	—	1 (1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 (1)
パングラデシュ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3 (3)
北米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 (1)
アメリカ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 (1)
カナダ	1 (1)	—	—	1 (1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2 (2)
中央	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 (1)
ロシア	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 (1)
国・地域計	28 (18)	31 (24)	8 (1)	67 (40)	143 (58)	24 (7)	0	23 (105)	3 (1)	5 (2)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	291 (132)

(注) 1. 留学生とは、出入国管理及び難民認定法別表第1に定める在留資格「留学」を有する者を指す。  
2. 国・地域の「地域」とは、独立国ではないが通例本国とは区別する地域を指す。  
3. ( ) 内は女子で、内数を示す。

# 『世界への窓口』国際交流課新設

国際交流課員 菊地令子

桜の花もほころび始めた一九九五年四月一日、明海大学浦安キャンパスに国際交流課が誕生しました。従来、留学生の受け入れ・送り出し、海外語学研修など国際交流に関することは学生課が担当してきましたが、留学生の飛躍的増加、また学内外の国際化の流れに対応すべく新たに国際交流課が設置される運びとなりました。

国際交流課では、①外国人留學生の生活全般・奨学金・宿舍②日本人学生の留学・語学研修③国際交流関連行事の企画・運営④姉妹校締結・交流に関する業務等、学内外における国際交流関連業務の全般を担当しています。そのなかでも中心的業務といえるのが外国人留學生の生活全般・奨学金・宿舍に関する業務です。

外国人留學生の志願者が年々増加していることを受けて、昨年十二月に文部省から外国人留學生の恒常定員枠として七〇名の増員が認可されました。その結果、今春入学した留學生は二二一名を数え、本学浦安キャンパスにおける外国人留學生の総在籍数は別科生・研究生を含め二九一名となりました。(別表1参照)これは、千葉県内では千葉大学、麗澤大学に次いで三番目の数字となっています。留學生の出身国・出身地域も中国、韓国、台湾、マレーシア等他に、新たに、これまで在籍していなかったロシア、カナダ、スリランカ、インドネシア、ミャンマー等の国の留學生が加わり計十五カ国と、大変バラエティーに富んでいます。

留學生の増加に伴いそのニーズや相談も多様化しており、国際交流課では、一筋縄ではないかない問題の数々に時に頭を悩ませ、時に胸を痛めながら留學生とカウンセラー越しにやりとりをする日々が続いています。圧倒的な奨学金の不足、困難な宿舍の確保等、今後解決していかなければならない問題はたくさんあります。一方では、留學生を中心とした国際交流行事が活発化しています。四月の新人外国人留學生ウェルカムパーティー、六月の浦安の留學生との交流パーティーでは内容・参加者数ともに例年を上回る盛り上がりを見せました。九月には山梨県清里に於いて、本学留學生・日本人学生・教職員との交流を深めることを目的とした、'95国際交流サマーセッションの実施、千葉県緑化フェア関連イベントへの参加等が予定されています。異文化ゆえに生じる様々な違い、新たな発見の数々、国籍の壁を越えた交流の感動、ひとりでも多くの人に、国際交流は『ごく身近にある』ということを実感してもらえようという行事にしていきたいと考えています。

(次ページへ)



別表2

1995年度夏期海外研修実施予定表  
1995年7月1日現在

主催	研修期間	研修機関	研修目的	参加者	引率者
日本語 学 科	9月3日	中 国 北京外国語大学	日本語教育の実習・見学	148	木村 肥 爪
	9月16日 (14日間)				
日本語 学 科	7月24日	台 湾 東 興 大 学	日本語教育の実習	6 名 (選抜)	櫻 井
	9月3日 (42日間)				
英米語 学 科	7月29日	イギリス クristofor カレッジ	英語研修	13名	和 田 他 1名
	8月26日 (29日間)				
中国語 学 科	7月29日	中 国 北京師範大学	中国語研修	12名	趙 加 藤
	8月28日 (31日間)				
経 済 学 科	8月27日	アメリカ ロサンゼルス (UCLAにF-キャンパス)	アメリカのメディア 産業の視察	未 定	内 田 樋 口
	9月5日 (10日間)				
不動産 学 科	9月3日	アメリカ (ニューヨーク、ワシントン DC ほか、ワンフランクス、 ロンドン)	アメリカの最新都市 建設事情と不動産の 現状視察	中 止	斯 波 河 村
	9月15日 (13日間)				

※経済学科、不動産学科のアメリカ研修は、定員に満たないため中止になりました。

1994年度夏期海外研修実施結果表

主催	研修期間	研修機関	研修目的	参加者	引率者
日本語 学 科	9月4日	中 国 北京外国語大学	日本語教育の実習・見学	9名 (11)	木村 櫻 井
	9月17日 (14日間)				
英米語 学 科	7月30日	イギリス クristofor カレッジ	英語研修	14名 (33)	津留崎 菊 地
	8月29日 (31日間)				
中国語 学 科	8月4日	中 国 北京師範大学	中国語研修	10名 (27)	小 島 賈
	9月4日 (32日間)				
経 済 学 科	8月21日	タイ王国 (ワカヌー・ス・イソフ大学 ア・ナート)	タイの文化・経済・ 都市問題についての 研修	16名 (9)	中 嶋 市 川
	8月31日 (10日間)				

(7ページより)

国際交流課の業務のなかで、もうひとつの柱となるのが日本人学生の留学・海外研修に関する業務です。社会的な国際化の流れを受けて、本学の海外留学希望者も年々増加しています。留学の目的・形態も様々であり、それらに対応し得る体制づくりは今後の大きな課題のひとつだと考えています。

夏季休暇中の海外研修の実施状況は、別表2のとおりです。教員の企画による研修旅行は、内容も訪問先も一般の旅行とは一味違ったものとなっています。特に語学研修は、毎年学部を超えた参加があり、学生の語学習得への意欲がうかがえます。しかし、残念なことに、ここ数年研修参加者は減少傾向にあり、最低実施人員に満たないため中止となる研修もでてきます。学生には、教員同行・姉妹校訪問など大学主催旅行ならではの利点を大いに活用しつつ、積極的に海外に出て全身に国際交流の風を感じて欲しいと考えています。

以上、国際交流課の業務の一部について駆け足で説明いたしました。今後の明海大学の国際交流活動が益々盛んになるように、鋭意努力して参りますので、どうか父兄の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

以上

**事務局だより**

○この度、試験における不正行為者の懲戒に関する内規が改正になり、以前のものよりかなり厳しい内容のものとなりました。カンニング等を行なうと停学処分になり全履修科目が無効となります。このような行為は絶対行なわないよう、ご子弟にご指導くださるようお願い申し上げます。

○本学も課外活動団体が設立されて、七年が経過しておりますが、サッカー部をはじめ各団体が優秀な成績を収めるようになりました。これも教育後援会の援助があつてはじめて実現することだと思います。課外教育活動の発展は学生の心身の発達はもとより明海大学生としての認識を高めるうえで大きな効果をもたらしていると思います。

平成8年度入試日程決まる。

来年度の入試日程が決定した。来年の入試日程の変更点は、(1)一般入試第二期の試験日程が一週間ほど早くなったこと、(2)第二部の願書受付日・入試日が3週間ほど遅くなり、各学部ごとの日程で行われること。また、(3)外国人留学生特別入試では第一期と第二期試験が正式に入試日程に組み込まれることなどが挙げられる。

●特別入試				●一般入試			
区分	学部	願書受付期間	試験日	区分	学部	願書受付期間	試験日
外国人留学生	第一期	11月20日(月)~12月12日(火)	12月17日(日) 12月16日(土)	第一部	外国語	1月8日(月)~1月25日(木)	2月3日(土)
	第二期	外(日・英米の分)・経済 第一部	2月20日(火)		経済		2月2日(金)
帰国子女	第一期	11月20日(月)~12月12日(火)	12月17日(日)		不動産	2月1日(木)	2月1日(木)
	第二期				歯学部	~2月22日(木)	2月3日(土)
社会人	第一期	11月20日(月)~12月12日(火)	12月17日(日)	外国語	2月1日(木)	3月2日(土)	
	第二期			経済	~2月22日(木)	3月1日(金)	
企業推薦	第一期	11月20日(月)~12月12日(火)	12月17日(日)	不動産	2月1日(木)	2月29日(木)	
	第二期			外国語	~2月22日(木)	3月2日(土)	
スポーツ特別推薦入試	第一期	11月1日(水)~11月13日(月)	11月18日(土)	第一期	外国語	2月1日(木)	3月2日(土)
	第二期	外・経・不	11月18日(土)	第二期	経済	~2月22日(木)	3月1日(金)
●指定校推薦				●一般入試			
学部		願書受付期間	試験日	学部		願書受付期間	試験日
外国語・経済・不動産 第一部・第二期		11月1日(水)~11月13日(月)	11月18日(土)	外国語		1月8日(月)~1月25日(木)	2月3日(土)